

## 学びのイノベーション事業 授業実践報告 様式

学校名：城東中学校

授業の概要	
授業日時・学年・教科・単元名等	
授業日時：平成24年 6月	
学年： 1年 1組	教科：数学科
単元名：方程式 何枚集まったかな？	
ICT支援員によるサポート <input type="checkbox"/> 授業中 <input checked="" type="checkbox"/> 事前	
単元・題材の目標	
方程式を作ることができる。	
単元全体の流れ	
本字は導入のため、具体的な事例を扱う。	
小学校で学習した線分図等を利用した解法で課題を解く。	
未知数を文字を使って等式をつくり、未知数を求める方法を考える。	
本時の中心となる授業形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> 個別学習 <input checked="" type="checkbox"/> 協働学習	
本時の目標（評価の観点）	
方程式を作ることができる。	
情報通信技術の活用	
活用した場面	
<input checked="" type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ <input type="checkbox"/> その他（ ）	
活用した者	
<input checked="" type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 生徒	
活用する目的	
<input checked="" type="checkbox"/> 課題の提示 <input checked="" type="checkbox"/> 動機付け <input checked="" type="checkbox"/> 興味・関心の創出 <input type="checkbox"/> 目的や目当ての明確化	
<input type="checkbox"/> 教員の説明 <input checked="" type="checkbox"/> 生徒による説明	
<input type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> 典型例の提示 <input type="checkbox"/> 創作活動	
<input type="checkbox"/> 失敗例の振り返り <input type="checkbox"/> 体験の想起 <input type="checkbox"/> 体験の代行 <input type="checkbox"/> 比較	
<input type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> 生徒同士の教え合い <input type="checkbox"/> その他（ ）	
活用したコンテンツ	
デジタル教科書	
デジタル教材	
計量器、50円玉	
活用した機器	
<input checked="" type="checkbox"/> IWB <input checked="" type="checkbox"/> タブレットPC <input checked="" type="checkbox"/> 実物投影機	
<input type="checkbox"/> その他（ ）	

※情報通信技術の活用のうち、本時におけるポイントとなる活用について主なものを回答すること。

## 1. 本時の展開

学習の流れと子どもの活動	指導・支援のポイント	使用した機器やコンテンツ
課題の把握	IWBに課題を提示。 各自で課題を考える。	IWB TPC
線分図をつくる。	計量器や50円玉を使ってイメージをつかませる。 ワークシートに線分図を作成する。	計量器 50円玉 ワークシート
立式して課題を解く	ワークシートまたは、TPCに解答する。	TPC ワークシート
発表	生徒の考えをIWBへ転送し、考え方を発表する。	IWB TPC ワークシート
効果の枚数をxとして、重さの関係を等式に表わす。	等式をTPCに記入する。  生徒の考えをIWBへ転送し、考え方を発表する。	TPC  IWB TPC
文字をふくむ等式の文字に当てはまる値を求めることを考える。		

## &lt;協働学習の実施状況&gt;

- 生徒が相互に教え合う場面があった     数名が一緒に学び合う場面があった  
 数名が協力したり助け合ったりする場面があった     数名が話し合う場面があった  
 一人が発表したことについて学級全体で考える場面があった  
 同じ問題について、学級全体で話し合う場面があった  
 ネットワークを使って遠隔地と結んで学ぶ場面があった

## 2. 情報通信技術の活用のねらいと効果

### (1) 活用のねらい

T P Cに考えをまとめ I W Bに転送して説明することで、考えを共有することができる。

### (2) 活用により期待される効果

発表時に生徒の考えを黒板に書く場合に比べ T P Cから I W Bへ画面を転送することで、時間を短縮することができる。

## 3. 実践上の課題

デジタル教材に記入する枠が小さいので記入しづらい。

※本報告は、2頁を超えて作成しても構わない。

※本報告とあわせて、授業の動画や写真を提出する際は、W e bでの公開など広く使用されることも考えられることから、保護者の了解を得るなど必要な対応を行うこと。